

教科（ 保健体育 ） 科目（ 保健 ） 学年（ 2 ） 単位数（ 1 ）

類型（ 共通 ） ・ 文 ・ 理 ） 履修規定（ 必修 ） ・ 選択 ）

学習の目標		使用する主な教材					
それぞれのライフステージにおける健康問題を理解し、それに対応するための方法を把握する。また、地球規模で変化している環境から私たちが生活している身近な地域の環境まで理解し、安全かつ健康的に生活できる力を養う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書『現代高等保健体育』 大修館書店</li> <li>・その他『現代高等保健体育ノート』 大修館書店</li> </ul>					
期	月	学 習 内 容	学習の具体的内容とねらい	主な評価の観点			
				①	②	③	
一 学 期	4	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における体の発達の特徴を理解する。</li> <li>・健康な結婚生活をいとなむための留意点を、心身の発達の観点から理解する。</li> <li>・受精・妊娠・出産の過程での健康のために、本人および周囲の人びとが留意すべき点を理解する。</li> <li>・高齢社会に対応した保健・医療・福祉の連携の意義と総合的対策の必要性を理解する。</li> </ul>	◎	○	◎	
	5	1 思春期と健康					
	6	2 性意識と性行動の選択					
	7	3 結婚生活と健康					
	8	4 妊娠・出産と健康					
	9	5 家族計画と人工妊娠中絶					
	10	6 加齢と健康					
二 学 期	8	7 高齢者のための社会的とりくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療制度など高齢社会における社会のしくみを理解し、私たちの役割を知る。</li> <li>・環境汚染はどのようにおこり、私たちの生活にどう影響しているかを知り、健康に生活できる社会をつくるためにどうすればよいかを理解する。</li> </ul>	◎	○	○	
	9	8 保健制度とその活用					
	10	9 医療制度とその活用					
	11	10 医薬品と健康					
	12	11 さまざまな保健活動や対策					
	13	3 単元 社会生活と健康					
三 学 期	1	1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生管理のために行政や製造・生産者が行っている対策を理解するとともに、私たちは食品の安全性を確保する方法を把握する。</li> <li>・仕事の仕方や職場環境の変化にともない、働く人の健康問題がどのように変わってきたか理解し、健康的な職業生活が送れるようにする。</li> </ul>	◎	○	◎	
	2	2 水質汚濁・土壌汚染と健康					
	3	3 健康被害の防止と環境対策					
	4	4 環境衛生活動のしくみと働き					
	5	5 食品衛生活動のしくみと働き					
評 価 の 方 法		① 「関心・意欲・態度」は、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べたりしようとしているか評価する。					
							② 「思考・判断」は、教科書などの資料から日常生活に当てはめたりして適切な行動選択や課題の解決方法を見つけることができるか評価する。
							③ 「知識理解」は授業で学んだこと知識を確実に理解しているか評価する。
							以上の3つの観点で総合的に評価し、期末考査の評価を加え算出する。